

## 2015年度 大阪大学 (前期)

医学部

試験時間：150 分

全問必答

1 自然数  $n$  に対して関数  $f_n(x)$  を

$$f_n(x) = \frac{x}{n(1+x)} \log\left(1 + \frac{x}{n}\right) \quad (x \geq 0)$$

で定める。以下の問いに答えよ。

(1)  $\int_0^n f_n(x) dx \leq \int_0^1 \log(1+x) dx$  を示せ。

(2) 数列  $\{I_n\}$  を

$$I_n = \int_0^n f_n(x) dx$$

で定める。 $0 \leq x \leq 1$  のとき  $\log(1+x) \leq \log 2$  であることを用いて数列  $\{I_n\}$  が収束することを示し、その極限値を求めよ。ただし、 $\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\log x}{x} = 0$  であることを用いてよい。

2 実数  $x, y$  が  $|x| \leq 1$  と  $|y| \leq 1$  を満たすとき、不等式

$$0 \leq x^2 + y^2 - 2x^2y^2 + 2xy\sqrt{1-x^2}\sqrt{1-y^2} \leq 1$$

が成り立つことを示せ。

3 以下の問いに答えよ。

(1)  $\sqrt{2}$  と  $\sqrt[3]{3}$  が無理数であることを示せ。

(2)  $p, q, \sqrt{2}p + \sqrt[3]{3}q$  がすべて有理数であるとする。そのとき、 $p = q = 0$  であることを示せ。

4 座標空間の  $x$  軸上に動点  $P, Q$  がある。 $P, Q$  は時刻 0 において、原点を出発する。 $P$  は  $x$  軸の正の方向に、 $Q$  は  $x$  軸の負の方向に、ともに速さ 1 で動く。その後、ともに時刻 1 で停止する。点  $P, Q$  を中心とする半径 1 の球をそれぞれ  $A, B$  とし、空間で  $x \geq -1$  の部分を  $C$  とする。このとき、以下の問いに答えよ。

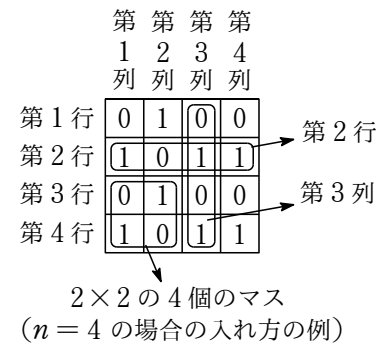
(1) 時刻  $t$  ( $0 \leq t \leq 1$ ) における立体  $(A \cup B) \cap C$  の体積  $V(t)$  を求めよ。

(2)  $V(t)$  の最大値を求めよ。

**5**  $n$  を 2 以上の整数とする。正方形の形に並んだ  $n \times n$  のマスに 0 または 1 のいずれかの数字を入れる。マスは上から第 1 行, 第 2 行,  $\dots$ , 左から第 1 列, 第 2 列,  $\dots$ , と数える。数字の入れ方についての次の条件  $p$  を考える。

条件  $p$ : 1 から  $n-1$  までのどの整数  $i, j$  についても, 第  $i$  行, 第  $i+1$  行と第  $j$  列, 第  $j+1$  列とが作る  $2 \times 2$  の 4 個のマスには 0 と 1 が 2 つずつ入る。


- (1) 条件  $p$  を満たすとき, 第  $n$  行と第  $n$  列の少なくとも一方には 0 と 1 が交互に現れることを示せ。
- (2) 条件  $p$  を満たすような数字の入れ方の総数  $a_n$  を求めよ。



## 2015年度 大阪大学 (前期)

医学部

(略解)

 証明, 図示などは省略**1**

(1) 証明は省略

(2) 証明は省略。  $2 \log 2 - 1$ **2**

証明は省略

**3**

(1) 証明は省略

(2) 証明は省略

**4**

(1)  $V(t) = \pi \left( -\frac{t^3}{3} - t^2 + 2t + \frac{4}{3} \right)$

(2)  $\pi \left( -\frac{4}{3} + 2\sqrt{3} \right)$

**5**

(1) 証明は省略

(2)  $a_n = 2^{n+1} - 2$